

平成22年5月7日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19530607
研究課題名（和文） 加齢および高齢者に関する知識とイメージを測定するテストの開発
研究課題名（英文） Development of a test to measure knowledge and image on aging and elderly people
研究代表者
奥村 由美子（OKUMURA YUMIKO）
川崎医療福祉大学・医療福祉学部・准教授
研究者番号：70412252

研究代表者の専門分野：社会科学
科研費の分科・細目：心理学・教育心理学
キーワード：加齢 高齢者 イメージ 認知症 生涯発達

1. 研究計画の概要

高齢社会において、様々な世代が高齢者への理解を深め、より良い関係を築いて、ともに暮らしていくことが望まれる。

加齢および高齢者に関する知識を身につける、あるいは知識とイメージを測定するテストとしては、パルモアによるFacts on Aging Quiz (FAQ, 1980, 1988に改訂)がある。クイズ形式で様々な場面で気軽に導入できるものであるが、作成年が古く、今の日本の実情に合わない質問項目が増えている。

本研究では、今の日本の実情に合い、高齢者にかかわる専門職だけでなく、学校教育や地域支援活動など様々な場面で使える、加齢および高齢者に関する知識とイメージを簡便に測定できるテストを作成することを目的とする。さらに、実際に作成したテストを用いて、加齢や高齢者に関して教えるための教材についても考える。

2. 研究の進捗状況

(1) 平成19年度：加齢および高齢者に関する知識とイメージを測定するテスト開発の

基礎となる高齢者イメージに関する文献調査と、大学生を対象とした認知症高齢者と健常高齢者のイメージ、認知症に関する知識などの質問紙調査を行った。文献調査から、高齢者イメージは主に Semantic Differential 法により測定され、用いる形容詞対によりイメージの知見は異なることがわかった。また、青年期以前のイメージは比較的肯定的で、その形成には高齢者と交流する頻度や関係性、高齢者への理解度などが関連していた。質問紙調査から、イメージは発達過程での高齢者とのかかわり体験や高齢者への肯定的感情、親や祖父母の態度に対する評価が影響する可能性があり、認知症高齢者よりも健常高齢者のイメージが肯定的である傾向を認めた。

(2) 平成20年度：前年度の調査結果をさらに検討し、大学生が高齢者にもつイメージは大学生の発達過程での祖父母や高齢者とのかかわり方にそれほどの違いがない場合には、祖父母への肯定的感情や親の祖父母への態度、高齢者全般とのかかわりとの関連は、認知症高齢者と健常高齢者のいずれのイメ

ージにも関連する可能性があることがわかった。さらに、より一般的な加齢や高齢者に関する知識およびイメージの測定方法の検討のために新たに「高齢者」のイメージを調査し、加齢や認知症の知識との関連を調べた。

(3) 平成 21 年度：高齢者イメージは高齢者に関する知識の影響を受ける。知識の測定には主に FAQ を用いているが、より簡便な測定にはその項目数を減らす必要がある。そこで、平成 20 年度の調査結果を用いて高齢者や認知症に関する知識を問う項目、高齢者イメージを測定する項目を改訂した。改訂項目による調査から高齢者、認知症に関する知識はいずれも得点の高低による円熟性因子得点での差を認めた。また、老人心理学講義により、じっくりと高齢者に関心を向けることにより理解が深まるような側面の高齢者イメージが、肯定的に変化する可能性が示された。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

加齢および高齢者に関する知識とイメージに関する先行研究をふまえて、大学生を対象とした調査を行ない、大学生の加齢および高齢者に関する知識とイメージ、およびその関連要因を検討できた。また、テスト開発に向けた調査項目の改訂を行なった。さらに、老人心理学講義による加齢および高齢者のイメージや認識の変化を調べることができた。

4. 今後の研究の推進方策

改訂項目による調査を継続し、加齢や高齢者についての知識とイメージについての検討を進める。さらに、老人心理学講義による高齢者イメージや認識の変化をさらに検討し、講義そのものによる効果を明確にするとともに、高齢者への肯定的な認識をもつこと

のできる講義内容についての検討も行う予定である。

5. 代表的な研究成果

[雑誌論文] (計 3 件)

① 奥村由美子、久世淳子、大学生の高齢者イメージに関連する要因—認知症高齢者と健常高齢者のイメージの比較—、日本福祉大学健康科学論集、第 12 巻、2009 年、31-38 頁、査読無

② 奥村由美子、久世淳子、高齢者のイメージに関する文献研究—一般高齢者と認知症高齢者に対するイメージ—、日本福祉大学情報社会科学論集、第 11 巻、2008 年、57-64 頁、査読無

③ 久世淳子、奥村由美子、学生の認知症に関する知識、日本福祉大学情報社会科学論集、第 11 巻、2008 年、65-69 頁、査読無

[学会発表] (計 8 件)

① Okumura Yumiko, Kuze Junko, Factors related to the student's image of elderly people, XXIX International Congress of Psychology, 2008.7.25, Berlin

② Kuze Junko, Okumura Yumiko, Knowledge of dementia and the image of elderly people, XXIX International Congress of Psychology, 2008.7.25, Berlin

[図書] (計 1 件)